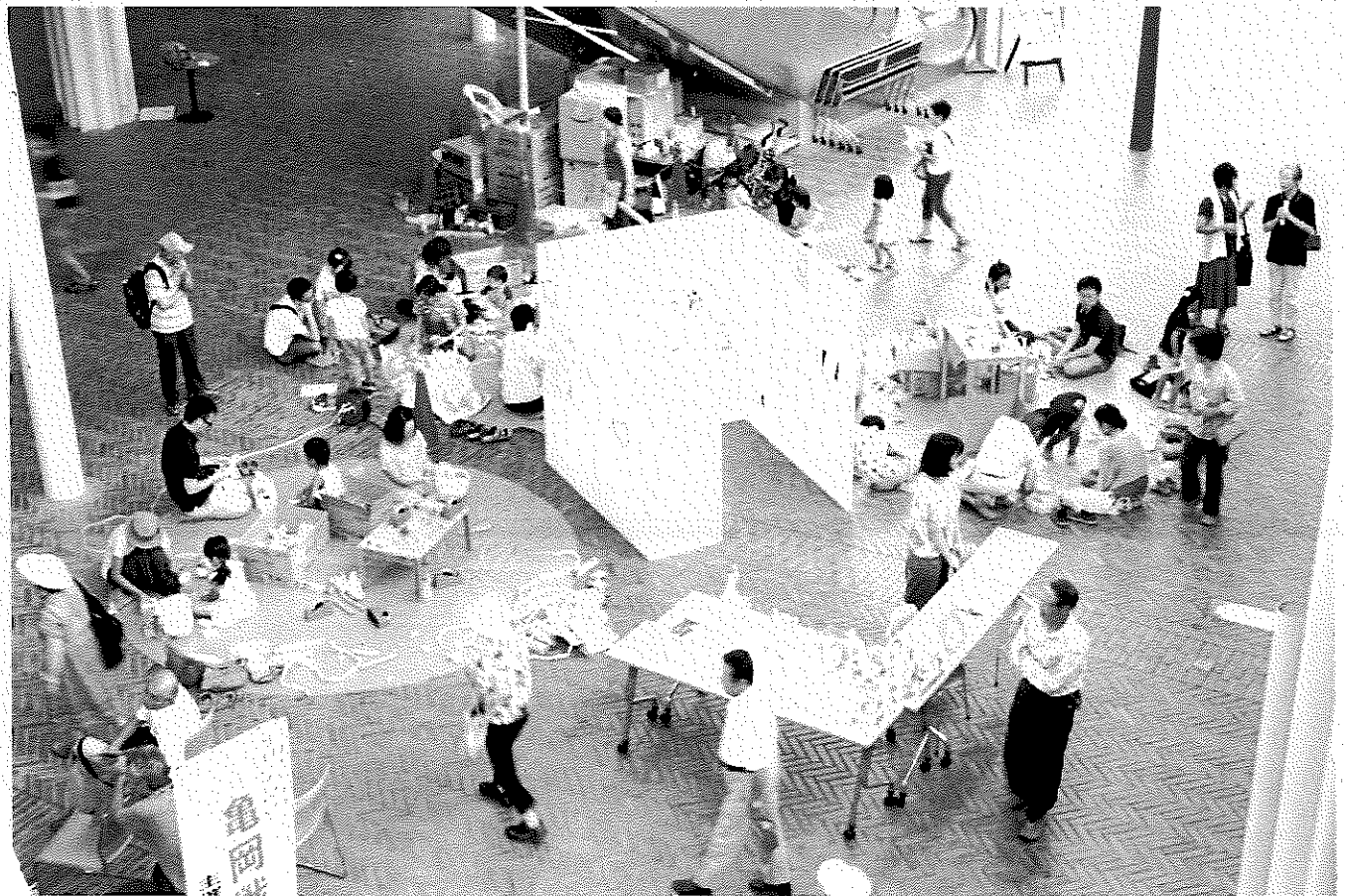
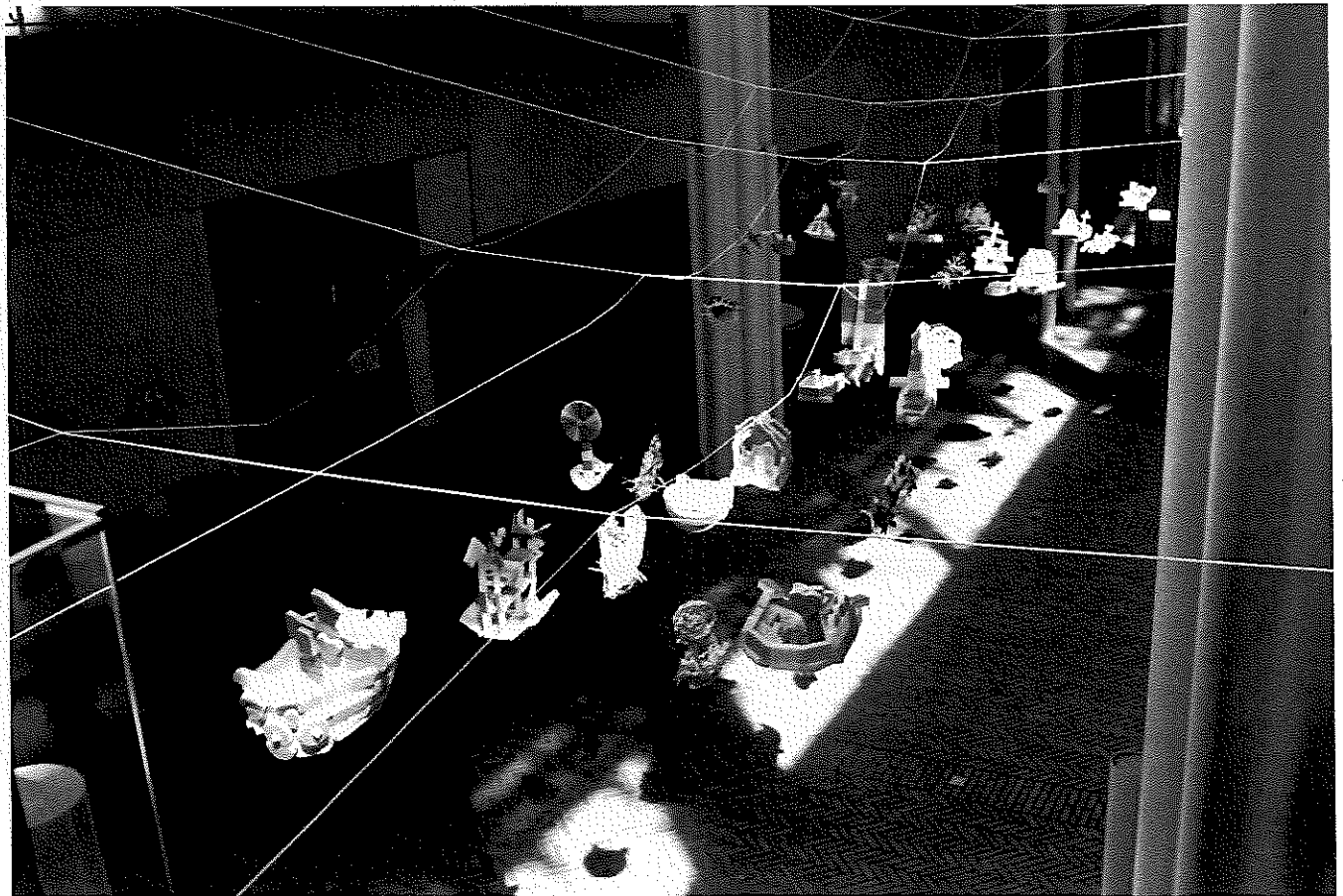


事業報告書

団体名：てくてくと遊ぼう会

1. 事業名	だれでもアーティストプロジェクト『ふねのパレード』
2. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(日時、場所、参加者数、内容など)
<p>日時 2014年8月3日(日) 13時-16時</p> <p>場所 ガレリアかめおか 中央ロビーギャラリー</p> <p>参加者 約70人 作品数36点(親子参加のため)</p> <p>参加費 500円(1作品)</p> <p>展示 ガレリアかめおか ロビーギャラリー</p> <p>展示日時 2014年8月7日-8月27日</p> <p>事業内容</p> <p>アートを通じて、つくること、みること、たのしむことが身近になることを目指して始めたプロジェクトです。今回は洗濯バサミ、アルミホイル、食器洗いスポンジの中から1つの素材を選び、それらを好きなだけ使って「ふね」をつくります。完成した作品は8月7日～27日までガレリアかめおかで展示しました。2階部分からロープを張り、参加者の作品(ふね)を列(パレード)になるように展示しました。</p>	
3. 効果	実施による効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。
<p>だれでもと銘打って開催したワークショップで、参加者は素材である日用品と向き合い、楽しく作品を作っていました。親子で一緒につくる姿や大人が真剣に作品を作っているところがとても印象的でした。今回から参加費をいただくことにしましたが、そのことで参加者のモチベーションの違いを感じました。展覧会をすることが本プロジェクトのもっとも大事なことだったので、ガレリアかめおかの館内装飾事業として大々的に展示ができたのがよかったです。今まで見たことないような展示ができたことでワークショップ参加者だけではなく、子供からお年寄りの方まで訪れた人たちが足を止めて見ていました。</p>	
4. 協働の効果	<p>※企画提案型協働事業のみご記入ください。</p> <p>事業を協働で実施したことによる効果について、数値や具体例などを交えながら具体的に記入してください。</p>
<p>※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。</p> <p>※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。</p>	







8月4日
月曜日



京都新聞社
The Kyoto Shimbun Co., Ltd.

日用品材料に船工作



食器用スポンジなどを組み合わせて船を作る親子連れ(亀岡市余部町ガレリアかめおか)

家庭にある日用品を使って自由な発想で船を作る工作イベントが3日、亀岡市余部町のガレリアかめおかであった。参加した親子はアイデアを出し合い、個性的な作品を仕上げた。

同市篠町の造形教室「子どもアトリエてくてく」が運営するイベント団体「てくてく遊ぼう会」の主催。約30人が参加し、洗濯はさみや食器用スポンジなどの

親子でアイデア出し合う

中から材料を選んで工作に挑戦した。

参加者は材料をいくつも並べて船体らしい曲線を作り上げた。洗濯はさみをつなぎ合わせて全長50センチ近い大作を仕上げた参加者もいた。安詳小1年の井口虹太君(6)は「船の上に鉄砲二つ、お風呂も作った」と満足そうだった。作品は7〜27日の間、ガレリアかめおかロビーに展示する。

(小池直弘)